



「投票率の向上について」に
関する政策提言書

令和7年5月

名取市議会 総務消防常任委員会

1 検討テーマ

投票率向上に向けた取組について、及び期日前投票について

2 解決すべき課題

各種選挙における投票率は全国で減少傾向だが、本市においても同様である。令和6年1月に執行された本市の市議会議員選挙では、投票率が35.55%と前回より3.74ポイント低下した。また、10月に執行された衆議院議員総選挙では、投票率が53.12%と前回より2.85ポイント低下した。

期日前投票所については、これまでは市役所の1か所のみであったが、投票しやすい環境づくりとして市議会からも度々、期日前投票所の増設を提言してきたこともあり、名取駅コミュニティプラザでも実施されるようになった。しかし、3日間のみの開設であったため、全体的な投票率減少傾向が改善されたといえる状況にはない。

3 調査及び検討の経過

(1) 投票率の向上について、先進的に取り組んでいる自治体の視察

令和6年7月10日 愛知県蒲郡市

テーマ「選挙手帳、投票済証について」、「期日前投票における各種取組について」

ア 選挙手帳、投票済証について

令和5年2月5日投開票の愛知県知事選挙における若年層への啓発のために選挙手帳を作成した。同じく投票済証についてもリニューアルし、市民からなじみのある竹島の絵を添えたデザインとし、選挙ごとにデザインを変更している。選挙手帳は1,000部作成し、学校を通して高校3年生に配布するとともに広報誌では18歳の希望者を募った。選挙手帳には8枚まで投票済証を貼れるようになっている。

イ 期日前投票における各種取組について

期日前投票については、令和3年より市役所のほか2か所の公民館で実施している。コロナ対策で市役所の密を避けるためという理由もあるが、利便性向上にもつながっている。

投票所における新型コロナウイルス感染症への対策として、期日前投票所のリアルタイム混雑状況の公開も行っている。

増設した期日前投票所の立会人は、選挙管理委員会で公募を行った。また、公募以外に、二十歳の集いの実行委員会のメンバーにも依頼している。

(2) 執行部の聞き取り調査

令和7年1月30日

ア 投票率の向上に向けた取組について

選挙啓発活動として、①なとり秋まつりへの出店、②明るい選挙推進協議会による街頭啓発活動、③横断幕の掲出による啓発、④市内大型店舗への放送等での啓発依頼、⑤選挙管理委員会公式Xによる情報提供を行っている。

若者に特化した取組については、①明るい選挙啓発ポスターコンクールの作品募集、②選挙年齢に達する市民に向けて選挙啓発冊子の送付、③市内小中学校・高等学校等への投票箱の貸し出し、④市内高校への出前講座の実施を行っている。

イ 期日前投票について

これまで、期日前投票所は市役所のみであったが、令和6年7月の市長選挙から、名取駅コミュニティプラザにも増設して実施する予定としていた。しかし、無投票となったことから、10月の衆議院議員総選挙から実施した。

来場した有権者からは「とても良い」「これからも引き続き設置してほしい」など複数の声が寄せられた。

4 提言する政策

投票率の向上に取り組んでいる愛知県蒲郡市を視察した。選挙手帳の導入は蒲郡市以外の自治体でも行われているが、イラストを工夫することで関心をもって手に取ってもらうことになる。蒲郡市では「選挙割」について現在は実施していないが、以前に商店街のイベントで投票済証を見せた方限定で先着100名にお菓子のプレゼントが企画され、開始から数分でお菓子がなくなったとのこと。また市のポイント付与など市内のサービス連携を検討している。ポイント付与についてはやるべきでないという意見もあるが、本市でも選挙手帳、投票済証を発行し選挙に関心を持っていただくような取組を検討すべきと考える。

名取駅コミュニティプラザでは3日間期日前投票を実施したが、開始時間も10時からであり、市役所で行う期日前投票の時間と違ったため、開始前に誤って来場した市民もいた。そのため、市役所と同じ日数・時間で開設を検討すべきと考える。

また、投票立会人について公募を行うことや、二十歳を祝う会実行委員会のメンバーに依頼するなど、人員確保の工夫を検討されたい。